

# 「英語通信」による深化補充と学習意欲向上の試み

英語科 肥 沼 則 明

## 1 はじめに

昨今の英語教育界は「コミュニケーション」一色である。平成5年度完全実施の学習指導要領に「コミュニケーションをしようとする態度の育成」が打ち出されて以来、それまでの「能力」の育成にとって代わるように、「態度」の育成が重視され、それに関する実践研究が各地で行われている。

本校英語科でも平成元年度よりこの点に着目し、平成2年度からは「生徒が主体的にコミュニケーション活動に取り組む授業」をテーマに研究を進めてきた。そして、コミュニケーション活動に3つのステップを設定して実践を重ね、大きな成果を得ることができた。

しかし、その一方で、コミュニケーション活動の重視が、学校教育としての英語の授業にそれまでにはなかった弊害を及ぼしているのではないかという危惧を個人的に感じている。つまり、授業中あまりにもオーラル・ワークに時間を割きすぎ、いわゆる「生徒と教師として」のコミュニケーションをとりながらの授業ができずらくなっているのである。そして、本当に以前より学習意欲は向上したかという疑問もあり、その不安を埋めるべく「英語通信」を取り入れてきた。

私が「英語通信」なるものの発行を初めて今年で4年目となった。いまだに試行錯誤の連続で、理論に基づいた定型があるわけでもなく、「自己流」の域を脱していないが、これを機にこれまでの実践をまとめることにする。ぜひ、ご一読いただいてご批判を仰ぎたい。

## 2 英語通信発刊の経緯

### (1) 英語通信「ごむふうせん」との出会い

学年通信、学級通信というものは、自分が生徒の時にもあったので、そのイメージはすぐにはわく

が、教科に焦点を当てた英語通信ともなると、その存在すら意識したことがなかった。その私が英語通信なるものに初めて出会ったのは、今から8年前、新任教諭として県立の高等学校に勤務してまもなくのことであった。

ある日、「英語が大好き」と自称する生徒が一冊の分厚い冊子を私にくれた。その冊子は、この生徒が中学校3年生の時の英語教師が発行した英語通信をまとめて綴じ込んだものであった。

その英語通信の発行者は、毛呂山町立毛呂山中学校(当時)の本田寛伸氏で、各号に「ごむふうせん」と名付けられたB4一枚の英語通信は、なんと1年間で105号も発行されており、毎号「愛と平和」を軸に、ご自分の世界感と生徒の活躍ぶりを伝えている。

「ごむふうせん」に刺激され、一時は自分も英語通信の制作を考えたが、当時はそれを発行し続ける自信がなかったので、「いつかはきっと……」という思いを残し、制作を断念した。

### (2) 学級通信の発行

教職2年目、初の担任を持った私は早くも生徒指導で壁に突き当たっていた。自分の気持ちを何とか伝えよう、そう思って行動しても、かえってすれちがいや空回りが多かったのである。

何とかその状況を打開しようと奮闘していたとき、脳裏に浮かんだのが「ごむふうせん」であった。本田氏は毎号に氏の熱き思いをつづっておられたが、同じ様な方法で生徒の心をつかめないかと思ったのである。そして、ほどなくして登場したのが、学級通信「ライト・スタッフ」であった。

学級通信の効果は大変大きく、生徒との相互理解や情報交換、進路指導などにとても役に立った。また、私が始めた学級通信は、高校に於ても生徒指導に大変有効であるということが他の若い教員

にも認められ、続々と姉妹通信を生んだ。中でも、内田正俊氏に至っては日刊にまでごぎつけ、現在も毎回質の高い通信を発行し続けている。

### (3) 英語通信の発行

教職4年目に縁あって中学校現場にやってきたが、ここで再び教科指導の振り出しにもどることになった。そして、2年目に初めて中学校1年生を教える機会を得たが、入門期の生徒に自分が十分な指導をしていけるだろうか、という不安に襲われたのである。その時、その不安の打開と指導の充実を図るために実施しようと思立ったのが、かつて断念した「英語通信」であった。「とにかく、最低3年間はあるかぎりの情報と自分の思いを提供し続けよう。」そんな動機で始まった英語通信であった。

その英語通信も、4年の間試行錯誤を繰り返しながら少しずつ自分のスタイルができてきた。当初、「オネスティー（誠実）」というタイトルで始めたB4縦一枚の通信も、途中でB4両面が定型となり、2年目からはかつて学級通信で使った「ライト・スタッフ（正しい資質）」を掲げてきた。生徒にもおおむね好評で、毎回多くの生徒が通信の発行を楽しみにしてくれている。

## 3 英語通信の役割

### (1) 「英語通信」とは？

では、英語通信とはいったいどのようなものだろうか。もちろん、ここでは明確な定義などを議論しようというのではなく、どのような理由で英語通信が用いられ、どのような記事が考えられるのか、ということで話を進めたい。

そのためには、まず教師が作る「～通信」なるものが、教育活動にどのような影響や効果があるのかを考える必要がある。30年以上も「学級通信」を発行し続けている山田暁生氏は、「学級通信の技術と方法」（教育史料出版会）の中で、近年、学級通信活動に身をのりだす教師が増えてきた理由を「通信活動そのものに大きな教育的意義を感じ、教育手段として大変価値ある力を生み出せるものだ」という認識が広まったためであろう」と述べている。多大な時間と労力のかかることを承知していながら、多くの教師がそれに何ら

かの教育的意義を見いだしているのである。またそれ故に、通信を制作する際には、単なる教師の趣味で生徒抜きの紙面作りをするようなことは控えたいものである。

一方、英語通信を長年発行している教師はどのように考えているだろうか。江口元夫氏は「英語通信とプリント」（三友社）の中で、英語通信は「広く豊かな内容を取り上げることによって、授業そのものを豊かにすると同時に、教師と生徒との人間的信頼感を育てることにもなるのである」と述べている。つまり、教科通信である「英語通信」も教育活動の一貫であり、教科指導の助けとしながら、同時に生徒の人間教育にも役立てたいということである。また、私の経験からもこれは十分可能なことであり、そのような記事を盛り込むことによって目的は達成できると考える。

### (2) 英語通信のねらい

英語通信は教育活動の一翼を担えるわけだが、では、教科指導の方法のひとつとしてどのような効果が期待できるであろうか。

関根順子氏のご自身の通信の中で、英語通信のねらいは、①英語に対する興味・関心を引き出す、②異文化理解の目を養う、③外国語を通して日本語やその他の言語—ことばについて考えさせる、④文法項目を整理して理解を促す、⑤生徒の自己表現・感想・意見を交換する、⑥私から生徒へのメッセージを伝える、の6点であるとしている。（「英語通信とプリント」）

私も発刊以来、4年間で68号発行したが、試行錯誤で紙面構成を考えているうちに、英語通信には次のような5つの効果（「ねらい」とも言える）が期待できると思うようになった。

- |   |
|---|
| ①授業で教えきれなかったことを補足できる<br>→時間の関係でどうしても触れられなかったことをまとめて提供する   |
| ②学習の動機付けとして利用できる<br>→楽しい記事によって、特に英語を不得意としている生徒の興味・関心を喚起する |
| ③発展的な学習への門戸を開く<br>→自発的に発展的な学習をしようという生徒に情報を提供する            |

- ④活動の結果や評価を披露することができる  
→授業中の活動や作品の成果を評価し、次の活動への意欲を喚起する
- ⑤教師としての思いを伝えることができる  
→タイムリーな話題を捉え、学校生活や進路に対してアドバイスする

関根氏のもの比べると、分類の仕方こそちがうが、ほぼ同じような項目が含まれているようだ。ただし、これらのねらいのすべてが、最初から理論的根拠があって設定されたわけではなく、いくつかはこれまでの実践による帰納的なものである。

上記の5つのねらいのうち、特に重視したいのは④で、生徒の活躍を掲載することは生徒のための英語通信を制作するための重要な鍵となる。そして、成果の評価、つまり‘ほめる’ことにあたるこの部分は、教育活動としての英語通信の真価を示す部分である。‘ほめる’ことがやる気を起こさせるというこは定説になっているが、この点について中学校学級経営研究会編の「学級経営の計画と展開」では、ひとりひとりの生徒を励ますことを重視し、その励まし方として「できるだけ形に現れる方法がよい」としている。英語通信はまさにその方法としてうってつけであろう。

#### 4 英語通信制作の実際

ここでは、これまでに述べた英語通信の役割を基本に、5つの「ねらい」別に過去の記事を整理して紹介する。

##### (1) 授業内容を補足するもの

「はじめに」で述べたように、授業中は極力生徒の言語活動の時間を確保するようにしているため、どうしても題材や話題において厚みのある授業内容になりにくくなっている。それを補うものがこの部分である。

##### ① 異文化紹介

教科書で取り上げられている題材について深く掘り下げたり、詳しい資料を提供したりするほか、生徒が興味・関心を示しそうな話題を日本との比較をとおして提供するもの。

##### <記事例>

- ・帰国子女座談会 ・日米物価比較 ・留学

4回連続 特別企画 海外体験報告 一第2回一  
日越陽子さんの巻

① 今週は日本の3人の登場です。いろいろな種類の紙が用意してあります。おもしろい守備人に思いませんか?

② どの楽器で演奏する国はどの国ですか? どの楽器で演奏する国はどの国ですか?

③ 7月1日の午後3時に3年生の修学旅行が6年がかりで3年がかりです。

④ 7月1日の午後3時に3年生の修学旅行が6年がかりで3年がかりです。

⑤ 本日は4年生から6年生の修学旅行が6年がかりで3年がかりです。

⑥ 本日は4年生から6年生の修学旅行が6年がかりで3年がかりです。

⑦ 本日は4年生から6年生の修学旅行が6年がかりで3年がかりです。

⑧ 本日は4年生から6年生の修学旅行が6年がかりで3年がかりです。

⑨ 本日は4年生から6年生の修学旅行が6年がかりで3年がかりです。

⑩ 本日は4年生から6年生の修学旅行が6年がかりで3年がかりです。

⑪ 本日は4年生から6年生の修学旅行が6年がかりで3年がかりです。

⑫ 本日は4年生から6年生の修学旅行が6年がかりで3年がかりです。

⑬ 本日は4年生から6年生の修学旅行が6年がかりで3年がかりです。

⑭ 本日は4年生から6年生の修学旅行が6年がかりで3年がかりです。

⑮ 本日は4年生から6年生の修学旅行が6年がかりで3年がかりです。

⑯ 本日は4年生から6年生の修学旅行が6年がかりで3年がかりです。

⑰ 本日は4年生から6年生の修学旅行が6年がかりで3年がかりです。

⑱ 本日は4年生から6年生の修学旅行が6年がかりで3年がかりです。

⑲ 本日は4年生から6年生の修学旅行が6年がかりで3年がかりです。

⑳ 本日は4年生から6年生の修学旅行が6年がかりで3年がかりです。

⑳ 本日は4年生から6年生の修学旅行が6年がかりで3年がかりです。

㉑ 本日は4年生から6年生の修学旅行が6年がかりで3年がかりです。

㉒ 本日は4年生から6年生の修学旅行が6年がかりで3年がかりです。

㉓ 本日は4年生から6年生の修学旅行が6年がかりで3年がかりです。

㉔ 本日は4年生から6年生の修学旅行が6年がかりで3年がかりです。

㉕ 本日は4年生から6年生の修学旅行が6年がかりで3年がかりです。

㉖ 本日は4年生から6年生の修学旅行が6年がかりで3年がかりです。

㉗ 本日は4年生から6年生の修学旅行が6年がかりで3年がかりです。

㉘ 本日は4年生から6年生の修学旅行が6年がかりで3年がかりです。

㉙ 本日は4年生から6年生の修学旅行が6年がかりで3年がかりです。

㉚ 本日は4年生から6年生の修学旅行が6年がかりで3年がかりです。

**THE・談会**

全国の先生は  
小川 正志  
栗本 貴子  
中村 真由美

(H元、1年生、第15号)

##### ② 文法道場

生徒からの質問やテストの誤答分析をもとに生徒がつまづきやすいと思われる文法項目を取り上げ、生徒の思考を整理するように易しく解説したもの

##### <記事例>

- ・ some と any ・ 前置詞 ・ 冠詞 ・ 可算と不可算 ・ 現在完了 ・ 関係代名詞 他

**Grammar** なぜ higher than any other mountains なの?

テスト後に質問を受けつけたら、「なぜ、than any other mountain では any のあとの mountain が複数形になっていないのですか?」という疑問を十数人から受けました。

これは、ここの any が「いかなる」「どれをとっても」という意味で使われているからで、Do you have any brothers? の場合は「いくらかでも」「何人か」と複数の方が想定して意味で使われているからで、右絵のように1つ1つのものと比べていると考えましょう。

(H2、2年生、第6号)

##### ③ 学習方法


ノート作りの方法、日頃の学習方法、テストの事前・事後勉強の方法などについて、具体的な事柄を色々な角度からアドバイスする。

##### <記事例>

- ・ 学習ノートの作成 ・ 中間テスト攻略法

### An Effective Way Of Study ~公文式学習法から学ぶ~

「公文式」は、世界で最も有名な学習法です。その特徴は、基礎から徹底的に学ぶことです。この学習法は、生徒一人ひとりの理解度を考慮し、自分のペースで学習できます。また、問題を解く過程で論理的思考力を養うことができます。



① 基礎から徹底的に学ぶ  
② 問題を解く過程で論理的思考力を養う  
③ 自分のペースで学習できる  
④ 世界で最も有名な学習法

(H3, 3年生、第5号)

④ 情報提供

テスト範囲や英検、各種コンテストの募集要項など単に情報提供を目的としたものと、テスト結果やアンケート集計結果など生徒の実態に関わるものをフィードバックするものがある

- <記事例>
- ・英検申込
  - ・英弁大会出場者募集
  - ・定期テスト結果分析
  - ・英語学習アンケート 他

### Report Enjoy Q-Making, Enjoy Speaking

Further Reading 1. 英語の勉強法について... 2. 英語の勉強法について... 3. 英語の勉強法について... 4. 英語の勉強法について... 5. 英語の勉強法について...

1. 英語の勉強法について... 2. 英語の勉強法について... 3. 英語の勉強法について... 4. 英語の勉強法について... 5. 英語の勉強法について...

(H3, 3年生、第16号)

(2) 英語学習への動機付けを図るもの

生徒はどんなことで英語に興味をもつかわからない。しかし、先人の例からその可能性の大きいものがいくつか存在する。ここでは、生徒の興味・関心を引き、また一般的に英語学習に比較的抵抗なく入れると思われるものを取り上げる。

① 映画紹介

生涯教育の観点で考えた、長いスパンの英語教育と捉えている。映画から英語を学ぶのは最近の流行であるが、そのきっかけを与えるものとして名作を紹介する。

<記事例>

- ・12人の怒れる男
- ・ライト・スタッフ
- ・バック・トゥ・ザ・フューチャー 他

### Movie '12 Angry Men' 必見 「十二人の怒れる男」

〈ストーリー解説〉 監督:シドニールムット 主演:ハリー・フォング

ある殺人容疑の少年の審議をしている12人の陪審員がいる。ある者は面がくさい。またある者は早く帰りたいと言ひ、さそと有罪にしてまおうとする。しかし、12人のうちの一人(主演のハリー・フォング)だけがもっとしっかり話し合おうと無罪に投票する。そして、事実関係を洗い直していくうちに一人一人と無罪側に立ち、ついに全員一致で無罪の解決を出す。

日本にはない陪審制度がどんなものであるかがわかり勉強にもなる映画です。と云って全編が一つの部屋の中で17という構成なのに、見えて、よく飽きないのは娯楽作品としても一越のききばえだからでしょう。ちなみに、私はこの映画を見るたびに自分のいい加減と反省します。

(H4, 3年生、第4号)

② 英語学習の思い出


各クラスの担任および副担任の先生から英語や英語学習にまつわる楽しいエピソードを紹介してもらい、生徒の励みにしようというもの。

<記事例>

- ・学年主任
- ・担任
- ・副担任

### Episode 'Carpenters and Bach'

美術科 村上博復先生



私、結構英語が好きです。だって、英語を話せる人って見ていて憧れますから。大学でも、自由にこられる講義では「英会話」をとって履修しました。

教授はMr. クック。イギリス出身です。大学のすぐ横に住まわっていて、美術に大変造詣が深い (he likes fine art.)。そんなことで大変仲良くしていただきました。

ある日、カーペンターズが家に来るから留守番を頼むと言われて、とても喜びました。カーペンターズといえば当時大人気で、日本に来るとか来ないとか話題になっていたもので...。しかし、留守番をしていて来たのは「大工」(本当のcarpenters) だったので。

留守番のごほうびにレコードを聞かせていただくことになり、これ知ってますかと出された1.モード・ジャケットは「RACH」レコーディング...

(H4, 3年生、第5号)

③ AETのコーナー

AETから学習へのアドバイスや楽しい話をしてもらったり、インタビューを載せたりする。

<記事例>

- ・What's in a Name?
- ・Are You Really

### SPECIAL "Enjoy Today!" Exclusive Interview with Tom



Tom: My father is a teacher. He teaches two courses: special education for the handicapped and subject called "Gifted and Talented".

Birthplace: I was born in Japan.

Mary: Thank you for coming to my corner of the English Whopper. Today I'd like to have an interview with you.

Tom: OK.

M: First of all, tell me your full name, please.

T: Ah, Thomas Mary Gandy.

M: Any special reasons for "Mary"?

T: Correct. My mother is a resource...

psychology of criminal along with racial feeling with families and cultural differences between different countries.

M: Why did you take the subject?

T: Because I want to get a job with FBI or DEA.

M: DEA?

T: Drug Enforcement Agency. I'd like to promote awareness of drugs and do something to eliminate drugs in America.

Travel & Food: M: I see. Then, why did you come to Japan?

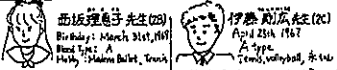
(H4, 3年生、第12号)

④ 教育実習生のコーナー

毎年多くの実習生がやってくるが、この実習生から英語にまつわる楽しいエピソードや学習へのアドバイスを話してもらおう。

<記事例>

**Advice** *A Little Talk with Student Teachers*



高坂理恵子 先生 (20)  
Ryoko: March 31st, 1987  
Head Title: A Little Talk with Student Teachers

伊藤朋広 先生 (20)  
April 13th, 1987  
Topic: Tennis, volleyball, tennis

高野 孝徳 先生 (20)  
April 20th, 1987  
Topic: the piano, Tennis

"Do your best, and you'll win."  
これはよく聞かれます。英語の先生は言葉に自信を持って話します。その言葉は私に大きな力を与えました。よく聞かずに英語の先生を批判するのはよくありません。  
私は英語が上手いとは思いません。勉強が今よりも進歩の可能性があります。先生から教わることが、私に自信を与えました。先生は私に挑戦を与えてくれました。私は先生に感謝しています。

H (2, 2年生, 第6号)

⑤ 英訳マンガ

近年、日本のマンガが英語学習用に続々と英訳されて登場している。マンガを楽しみながら英語をマスターしてしまう方法を紹介する。

<記事例>

- ・生徒諸君！ ・おとぼけ課長 ・源氏物語
- ・マンガにみる擬声語・擬音語 他

**Manga Gets International Popularity**



「マンガは世界中で人気があります。これは素晴らしいことです。マンガは私たちの文化を世界に広げました。これは素晴らしいことです。マンガは私たちの文化を世界に広げました。これは素晴らしいことです。」

H (4, 3年生, 第18号)

⑥ クイズ

ほぼ毎回出題し、正解者の名前を次号で紹介している。クイズを解きながら英語を勉強させるのがねらいである。特に岩田和夫著「英単語クロスワード」(光文社)からの出題は大好評で、多いときは60名(3分の1)以上の生徒が応募してくる。

<記事例>

- ・国名あて ・英単語 ・What Am I?
- ・和訳 ・英英辞典 ・クロスワード 他

**Quiz**

正解者: 橋本山(18) 大平政(10) 長山山(10) 今泉政(10) 湯沼政(10) 高橋山(10) 保坂山(10) 前田山(10) 松原山(10) 若狭山(10) 今井山(10) 深澤山(10) 三木山(10) 藤山山(10) 大塚山(10) 平塚山(10) 角山(10) 上野山(10) 木村山(10) 橋本山(10) 鈴木山(10) 高橋山(10) 黒田山(10) 藤山山(10) 阿部山(10) 岡山山(10) 橋山山(10) 山根山(10) 山崎山(10) 朝山山(10) 佐藤山(10) 藤山山(10) 藤山山(10) 藤山山(10) 土屋山(10) 小崎山(10) 坂山山(10) 山崎山(10) 小泉山(10) 赤川山(10) 西尾山(10) 竹内山(10) 森山山(10) 横山山(10) 五月山(10) 朝山山(10) 岩山山(10) 洋山山(10) 横山山(10) 吉村山(10) 藤山山(10) 栗山山(10) 河山山(10) 石河山(10) 平山山(10) 藤山山(10) 野山山(10) 飯山山(10) 藤山山(10) 以上66名

今日の出題

H (4, 3年生, 第6号)

(3) 発展的な学習を促すもの

自発的により発展的な英語学習をしようという生徒に、幅広い学習のアイデアとチャンスを与えようというものである。したがって、中学生の学習の域を越えたレベルの(つまり、ネイティブが普通に使う)英語も紹介する。

① ことわざ

人生、恋、悩み、など揺れ動く中学生の心に浸み透るようなことわざを、日本語のことわざとの比較も交えながら紹介する。

<記事例>

- ・意志 ・後悔 ・学問 ・友情 他

**Proverb** *A friend in need is a friend indeed.*

私の大好きなことわざの一つです。直訳は「必要(need)などきの友は本当の(indeed)友である」と、ふつう「きつかりのときの友は真の友」と訳されています。自分が困ったときやそばにいてほしいなあと感じているときにいてくれる人を本当の友人であると云うことです。みんなは自分の友だちに、その人にとっての a friend

H (元, 1年生, 第13号)

② 英詩

有名な俳句や短歌を英訳したものから、生徒の自作の詩や本格的な英詩を取り上げ、英詩のもつ独特のリズムや外国の人の心情に触れさせる。

<記事例>

- ・「海」 ・「空」 ・俳句 ・短歌 他

**Haiku & Tanka: World's Standard**

Haiku (俳句) ... 3-5-7 ...  
Tanka (短歌) ... 5-7-5-7-7 ...

例: An old pond / The sound / Of a diving frog  
例: When a thing is dead / The frog becomes a frog / Like the autumn wind

H (4, 3年生, 第18号)



(5) 教師の思いを伝えるもの

直接話したのではなかなか伝えられないこともそれを文章にすると思いのほか受け入れられることがある。そこで、ぜひ生徒にわかってもらいたいことをここで取り上げる。ただし、あくまでも英語通信であるので、その話題を英文で書いて読ませたり、英語にまつわるエピソードから話を発展させるようにする。

① 進路について

進路や受験についての悩みの相談や情報提供について私見を述べる。英語で書いた記事には要約などの課題を与えて速読の練習も兼ねる。

<記事例>

- School You Would Choose
- It's Up to You 他

**It's Up To You PART 5: School You Would Choose**

○ No Cran School  
High school is high school. It's not a place where you study just for college entrance examination, but it is a nice place where you can enjoy some part of your life. In this sense, if you choose a high school just because it is considered as 'high level' and you go there, you will find nothing significant to your high school life.

○ What's Next?  
Then you should know what you can have at the school you want to go to; curriculum, club, equipment, atmosphere, tuition, etc. These are important factors that you should consider when you decide 'which one to go.'

Among them, the curriculum is a vital factor which would have great influence on your school life and your future life. You can't say, "I should have gone to other schools..."

○ What You Should Do  
You should not become a 'loner' for the fame of your future school. And also you should not underestimate your performance even if you go somewhere undesirable. What is important is WHAT YOU DO there.

Then, the items below are some points you should think over.  
- Why do I wish to go to this school? (Because it is famous?)  
- What do I want to do at this school? (Don't I expect the school will do something for me?)

(H 4、3年生、第10号)

② 問題提起

学校生活を送る生徒として、社会に生きる人間としてぜひ身につけておきたいマナーについて実例をあげてふれる。特に国際理解の視点から国際人となるための資質についてもふれる。

<記事例>

- 国際人の資質
- 他人に対する思いやり

**Topic Internationalization?**

この通信の国際化の一環として、今回は「国際人の資質」について取り上げてみました。国際化が進むにつれて、国際人としての資質を身につけることは、ますます重要になってきています。国際人とは、単に外国語が話せるだけでなく、異文化を理解し、尊重し、協力し合うことができる人です。国際化が進むにつれて、国際人としての資質を身につけることは、ますます重要になってきています。国際人としての資質を身につけるには、国際化が進むにつれて、国際人としての資質を身につけることは、ますます重要になってきています。

(H 3、3年生、第6号)

③ 人生と夢

色々な生き方や考え方があることを自分の経験から紹介する。ただし、「こうあるべきだ」のように強引にならないようにしている。

<記事例>

- 情報化時代の自己喪失
- Are You Trendy or Old-fashioned?、留学体験記 他

**Seeking For The Right Stuff** (クリス・マウ) - 留学の成果

留学は、人生の大きな転機です。新しい文化や考え方に触れることは、自分自身を成長させるチャンスです。しかし、留学は決して楽な道ではありません。新しい環境に慣れること、言葉の壁を越えること、そして、自分自身を成長させること。留学は、人生の大きな転機です。新しい文化や考え方に触れることは、自分自身を成長させるチャンスです。しかし、留学は決して楽な道ではありません。新しい環境に慣れること、言葉の壁を越えること、そして、自分自身を成長させること。

(H 3、3年生、第16号)

5 作成上の留意点

教育活動の一環でもある英語通信だからこそ、その紙面作りにはできるだけ注意を払いたい。そして、制作するからには、その利点を生かすできるように工夫したいものである。

そこで、ここでは英語通信を作成する際の留意事項について考えてみることにする。

(1) 発行間隔と発行時期

私の英語通信をご覧になった先生方から「どのくらいの間隔で発行するのですか?」とよく尋ねられる。現況では「2週間に一度」くらいがちょうどよいと考えている。もちろん、できるだけ多くの通信を発行したいが、次のようなことを考慮して発行の度合を調整している。

- 他の校務に支障のないようにする
- 生徒が情報量に対して消化不良にならないようにする
- 作成者の気力や知識が続く程度にする

また、発行時期については学校行事や教科書の題材の変わり目、季節の行事などに合わせると話題も探しやすい。しかし、内容によっては即応性の必要なものもあるので臨機応変に対応したい。

とにかく、大切なことは「継続する」ことである。なぜなら、単発的なものでは発行者の通信のねらいがはっきりしないばかりか、伝えたいことを満足に伝えきれずに終わってしまうからである。この点については前出の山田暁生氏も「継続してこそ魅力と教育力が増す」と通信発行における継続性を強調している。

## (2) 紙面構成

忙しい校務の中で心血を注いで制作する英語通信であるから、多くの生徒に読んでもらえるようにしたい。しかし、苦勞して提供した記事でも、それが生徒の興味を引かなかつたり、生徒の精神的発達度（レディネス）に合っていなかつたりすると効果は薄いものとなる。

では、多くの生徒が読んでくれる、あるいは読みやすい紙面構成とはどんなものであろうか。生徒の反応からは次のような留意点が考えられる。

### ① 一見して読みやすい印象を与えること

イラストなどが適度に散りばめられており、とつきやすい印象を与えるように工夫した方が生徒の第一印象がよい。特に堅い内容の時ほどこれをうまく活用したい。また、記事の配置なども新聞や雑誌などを参考にしてみやすくする。

### ② 見出しを工夫すること

新聞を読むときに多くの人は真っ先に見出しを見るという。そこで英語通信でも見出しに気を配りたい。ポイントとしては、ひと目で内容がわかるものや内容を予感させるようなものにする。英語の見出しを付けるのも英語通信の雰囲気を出すために好都合なので、英字新聞や海外の雑誌などから見出しの付け方の要領を学ぶとよい。

### ③ できるだけ多くの記事を書き載せること

全面をひとつの記事で埋めてしまうと、最初の部分で興味をもたなかった生徒は残りの部分をまったく読んでくれなくなる。だから、いろいろな「味」を楽しめるような紙面にしたい。また、問題演習のようなもので紙面を使ってしまうようなら、それは英語通信というよりは「ワークシート」あるいはいわゆる「プリント」と呼ぶべきだろう。

### ④ 生徒に身近な記事を書くこと

英語通信を配った瞬間に熱心に読みふけるのは、やはり直接生徒のことを取り上げたときであるの

で、できるだけ身近な話題を提供するよう心がけたい。もし、あまりなじみのないことを取り上げるときには、導入部で身近な具体例から入るようにするとよい。

### (3) その他

以上の留意点以外に、準備や実際の作成の段階で次のようなことに留意している。

#### ① 文字は手書きにしたい

ワープロは文字も見やすくその種類も豊富であり、通信を作成するにはもっとも手軽な機器である。しかし、作成者の「思い入れ」のある通信だからこそ、ここは「手書き」にこだわりたい。特に自分の意見が含まれているような記事では、自筆の文字も訴えかけのひとつの手段となる。

もちろん、手書きではない方がよい部分もある。それは他の人に依頼した原稿を載せるときで、そのようなときはその人の自筆のままかワープロでリタイプするようにしている。

#### ② 英文にはこだわらない

英語通信だからといって、すべてを英文で書く必要はない。なぜなら、情報を伝えるだけなら日本語で十分であるし、あまり難しい英文が続くと生徒に抵抗感をもたせるからである。もちろん、英文を読ませることを目的とするときには、生徒の実態にあった英語の文章を載せるようにする。

#### ③ できるだけ多くの資料を準備する。

多彩な内容の紙面作りをするためには、それだけ多くの話題や具体的な資料・データが必要となってくるので、日頃から英語通信に使えるようなことはどんどんストックしておきたい。例えば、米国新大統領が就任したときには、すぐに翌日の英字新聞から就任演説（全文）をコピーしておく、というように。

また、旅行、特に海外に出たときには、記事（教材）にすることを前提にして写真をとったり、パンフレットを集めたりする。

#### ④ 生徒の声を反映する

生徒に読んでもらう英語通信であるから、読んでみての感想を聞き、紙面作りに役立てたい。もっとも手軽な方法はアンケート調査で、印象に残った記事や役にたった記事、反対につまらなかった記事を教えてもらう。さらにどのような記事を書



望むかと問うと、中には紙面作りのアドバイスをしてくれる生徒も出てきて参考になる。

⑤ 同僚に読んでもらう。

通信を発行しているのが自分だけであったりすると、何となく「恥ずかしい」と思ったり、「でしゃばり」と思われまいかと心配したりするが、ここはぜひ作品を他の教員にも読んでもらい、感想を聞いておきたい。すると、次の通信作成に非常に参考になる意見をもらえることが多い。

また、できたら「通信仲間」のようなものを持ち、お互いの作品を交換し合って通信の質を高めたい。私には前任校に「学級通信仲間」がいるが、離校後5年たった今も、学期毎くらいにお互いの通信（こちらは英語通信）を送り合っていて感想を述べ合っている。

6 考 察

これまで英語通信の役割や制作の実際について述べてきたが、研究主題の検証についてははっきりと触れていない。もともと研究仮説を立てて始めた研究ではないので、明確な論証はできないが、英語通信が生徒たちにどのように受け入れられてきたかということをもって考察としたい。

(1) アンケートの結果から

平成4年2月に卒業間近の3年生172名に英語通信に関するアンケートを実施した。この生徒たちは入学時から英語通信に触れており、その存在があたりまえになっていた者たちである。

① 通信の受けとめ方について

<問>あなたは英語通信を毎回どのくらい読みましたか

ほとんど全部 22%	半分くらい 34%	興味のある記事のみ 41%
---------------	--------------	------------------

ほとんど読まない3% →

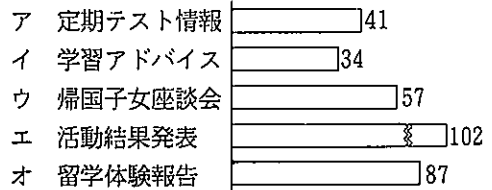
かなり苦勞して作った英語通信であったが、生徒の反応は意外にクールである。しかし、どこかしらに目を通してくれる者がほとんどであるから、英語通信の5つの「ねらい」が何らかの形で達成されていると考えてよいだろう。

② 個々の記事について

<問>あなたが「面白い」または「興味をもった」

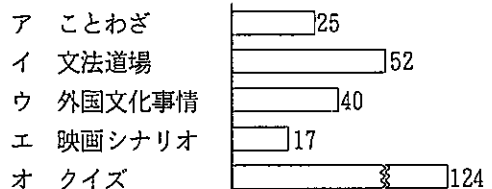
あるいは「役にたった」と思う記事を分野別に挙げてください。(いくつでも)

[A: 特集記事]



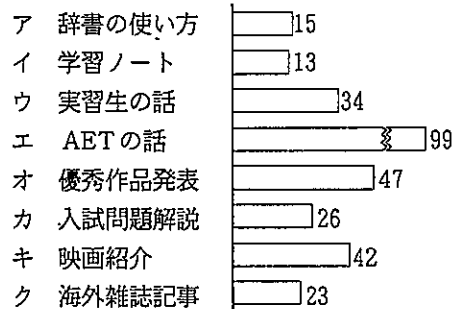
この中で、エが多いのは自分や仲間の名前が具体的に出ていいるからであろう。反対にア、イは情報として必要であっても、抽象的で興味を引かなかったものと思われる。オは私個人の記録であるが、色々なエピソードが関心を引いたらしい。

[B: 固定化されたもの]



オは応募者の数でも予想できたが、かなりの生徒を引き付けたようだ。エはややマニアックなことで長すぎるのが低人気の原因のようだ。イは予想以上に読まれていると感じた。

[C: その他]



アとイは1年時のものということもあるが、実用的なことは通信内容としては人気がないようだ。AETについてはやはり多くのものが関心を寄せているのがわかる。

③ 制作について

<問>来年以降も英語通信を発行していくつもりです。制作する上で何かよいアイデアやアドバイスがあったら教えてください。

主な意見を取り上げると

- ・自分の名前がでるのが楽しみでした。これが

らもできるだけ載せてください。

- ・映画のシナリオとクイズはすごく役にたった。次の学年の人たちにもどんどん教えてあげてください。
- ・英語で書いてあったところがよくわからなかったの、注をつけてほしかった。
- ・成績はよくなかったけど英語は好きでした。英語通信のおかげかな？

発問の仕方にもよるかもしれないが、このように好意的な意見ばかりで批判的なものはひとつもなかったのは、英語通信が彼らの英語学習の一部になっていたからであろう。

## (2) 保護者の感想から

私が制作する英語通信は生徒向けのものであるが、印刷物として発行する以上、保護者の目にも触れることを前提としない訳にはいかない。保護者向けの記事を入れたことはないが、実際にPTAなどの会合で英語通信のことが話題になったこともあったので、思いのほか家庭における英語教育にも影響を与えているようだ。

保護者にアンケートをとったことはないが、ここでは非公式に寄せられた意見を紹介する。

- ・1年間子供と一緒に楽しく読ませてもらいました。ぜひ今年も続けてください。
- ・英語通信のシナリオを見て私もビデオで英語の勉強をしました。
- ・いつも楽しい記事をありがとうございます。うちの子もこれを読んで少しでも英語に興味をもってもらえるといいのですが。
- ・先生の留学体験を読んでうちの子も留学させようと思いますがいかがでしょうか。

これまでに寄せられた意見のみで判断する限りでは、保護者にもおおむね好意的に受け留められているようである。また、生徒以上に影響を受けている保護者がいるのもおもしろい。

このように生徒ばかりか保護者からも好評の英語通信。科学的な根拠は少なくとも十分教科教育の一翼を担っていると断言できる。コミュニケーション活動重視の影でやや比重が軽くなってしまった英語学習指導の部分を補うものとして、今後も発行を続けていきたい。

## 7 今後の課題

英語通信は、一度始めたらよほどのことがないかぎりやめられない魅力がある。なぜなら、様々な記事を通して生徒ひとりひとりのダイレクトな反応が返ってくるからだ。しかし、同時に、制作を続けていると色々な欠点も見えてきて、より質の高いものを作るにはどうしたらよいかと思悩むことが多い。そこで、現在感じている問題点を明らかにして今後の制作への課題としたい。

### (1) 理論研究の推進

これまで記事の内容についてアンケートなどで生徒の声を聞いてきたが、はたしてどれだけ学習の深化補充に役だっているのか、あるいはどれだけ生徒が意欲的になっているのかを科学的に測定していない。教師の思い込みだけでは根拠が薄いので、何らかの方法でそれを測定してみたい。

### (2) 記事内容の精選

生徒の興味関心に合わせて色々な記事を提供してきたつもりであるが、いまだに内容が偏っていたり、ほとんど読まれないような記事がある。大切なものはカットするわけにはいかないが、見た目を工夫したり、同じ内容でもアプローチの仕方を変えたりして、より多くの生徒に親しまれるものにしたい。

### (3) 制作のシステム化

英語通信はどうしてもそれを制作する教師のボランティアによるところが大きい。実際、勤務時間外や休日のかなりの時間を割いて作成している。発刊して4年間ではあるが、記事のストックもだいぶ蓄積されてきたので、それらを整理して効率のよい作成をしたい。

### (4) '生徒版' 英語通信の指導

過去に、本校の大宮 孝教諭が「英字新聞」を生徒に作成させた事例があるが、同じように「書くこと」の指導に英語通信を役立てたい。これほど英語通信が生徒の学習に定着してきたので、最初は記事の一部を作らせるなどから始めて、最終的に個々の生徒に英語通信を作成させるつもりである。

8 紙面構成例

① 平成元年度 1年生 第1号・2号

第1学年 英語通信 No.1

### Your English Adventure Is About To Begin!

いよいよ「英語」がスタート!  
ついで、将来、その英語の知識が役立つ。中学で習った小学生のときと学校生活で学んできたことは、何となく、親しみを感じる。その英語のスタートは、その今、この瞬間から。新しい世界が広がる。英語は楽しい!

英語は「ことば」です。英語は「ことば」です。他人の心と自分の心を結びつける大切な道具。英語は「ことば」です。コミュニケーションのついでに、新しい世界が広がる。英語は楽しい!

Tuesday, April 15, 1992

東京府立総合教育センター  
第1学年英語通信第1号  
編集 沼田 信子  
©1992 NOHRYU

英語の冒険が今、始まるよ!

今回は「ことば」を習得していくのと同時に、自然の方法で、その知識と技術を身に付ける。そのために、新しい世界が広がる。英語は楽しい!

その方法? ~ワートAもワートBも~

1. その方法? ~ワートAもワートBも~

2. さらに勉強しよう ~ワートBも~

3. 連発中にどんな勉強しよう

沼田 信子  
沼田 信子 (1961年10月1日生まれ)  
東京府立総合教育センター  
第1学年英語通信編集  
沼田 信子 (1961年10月1日生まれ)  
東京府立総合教育センター  
第1学年英語通信編集

沼田 信子  
沼田 信子 (1961年10月1日生まれ)  
東京府立総合教育センター  
第1学年英語通信編集  
沼田 信子 (1961年10月1日生まれ)  
東京府立総合教育センター  
第1学年英語通信編集

② 平成2年度 2年生 第9号(表/裏)

第2学年 英語通信 THE RIGHT STUFF

### You Have To Work On Saturday?

I sometimes get a question like "Will you tell me the easiest way to master English?" from both students and their parents. In this case I always answer like "Oh, no. There is no easiest way." But I'll tell you the "best" way. Then they look happy. So I say "It's daily simple practices, such as reading textbooks, writing new words, speaking out important sentences." But whenever they hear this, they always start to look unhappy and disappointed. Do they expect something new? Or something epoch-making?

English is a language. And that means you can never master it without certain amount of listening and speaking exercise. So listening and speaking are basic. Take a Japanese baby learning how to speak Japanese. Does he/she suddenly start to speak Japanese without practicing how to speak it? At first babies make only meaningless sounds. After listening to their parents, they start to say strange things but which definitely mean something. And then they start to say a word. You can learn English just like that. But unfortunately you don't have very many opportunities to listen to and speak English. So you have to have them for yourself. You will work every day!

Tuesday, February 18, 1992

沼田 信子  
沼田 信子 (1961年10月1日生まれ)  
東京府立総合教育センター  
第2学年英語通信編集  
沼田 信子 (1961年10月1日生まれ)  
東京府立総合教育センター  
第2学年英語通信編集

英語の冒険が今、始まるよ!

今回は「ことば」を習得していくのと同時に、自然の方法で、その知識と技術を身に付ける。そのために、新しい世界が広がる。英語は楽しい!

沼田 信子  
沼田 信子 (1961年10月1日生まれ)  
東京府立総合教育センター  
第2学年英語通信編集  
沼田 信子 (1961年10月1日生まれ)  
東京府立総合教育センター  
第2学年英語通信編集

沼田 信子  
沼田 信子 (1961年10月1日生まれ)  
東京府立総合教育センター  
第2学年英語通信編集  
沼田 信子 (1961年10月1日生まれ)  
東京府立総合教育センター  
第2学年英語通信編集

第1学年 英語通信 No.2

### 学習ノートの作成

ノートは自分で作る最高の参考書です

1. その方法? ~ワートAもワートBも~

2. さらに勉強しよう ~ワートBも~

3. 連発中にどんな勉強しよう

Tuesday, May 18, 1992

沼田 信子  
沼田 信子 (1961年10月1日生まれ)  
東京府立総合教育センター  
第1学年英語通信編集  
沼田 信子 (1961年10月1日生まれ)  
東京府立総合教育センター  
第1学年英語通信編集

英語の冒険が今、始まるよ!

今回は「ことば」を習得していくのと同時に、自然の方法で、その知識と技術を身に付ける。そのために、新しい世界が広がる。英語は楽しい!

沼田 信子  
沼田 信子 (1961年10月1日生まれ)  
東京府立総合教育センター  
第1学年英語通信編集  
沼田 信子 (1961年10月1日生まれ)  
東京府立総合教育センター  
第1学年英語通信編集

沼田 信子  
沼田 信子 (1961年10月1日生まれ)  
東京府立総合教育センター  
第1学年英語通信編集  
沼田 信子 (1961年10月1日生まれ)  
東京府立総合教育センター  
第1学年英語通信編集

第2学年 英語通信 THE RIGHT STUFF

### You Did A Good Job.

英語劇最優秀発表会

Play 44 Characters Came To Get You.

Tuesday, February 18, 1992

沼田 信子  
沼田 信子 (1961年10月1日生まれ)  
東京府立総合教育センター  
第2学年英語通信編集  
沼田 信子 (1961年10月1日生まれ)  
東京府立総合教育センター  
第2学年英語通信編集

英語の冒険が今、始まるよ!

沼田 信子  
沼田 信子 (1961年10月1日生まれ)  
東京府立総合教育センター  
第2学年英語通信編集  
沼田 信子 (1961年10月1日生まれ)  
東京府立総合教育センター  
第2学年英語通信編集

沼田 信子  
沼田 信子 (1961年10月1日生まれ)  
東京府立総合教育センター  
第2学年英語通信編集  
沼田 信子 (1961年10月1日生まれ)  
東京府立総合教育センター  
第2学年英語通信編集

第3学年 ENGLISH NEWSPAPER III No. 17

# 英語通信 THE RIGHT STUFF

## Farewell To All Of You

You are about to leave the school. And you are going to complete the elementary learning of English. All of you have done it well. Congratulations!

I got assigned to be your English teacher three years ago, accompanied with the first English newspaper "Honesty", followed by the second "The Right Stuff". Since then, I have put there everything I believe to be important to you. Sometimes they seemed to encourage you to study hard, and sometimes they might make you feel comfortable reading what you worked well.

I am honored and happy to have been your teacher, and I really enjoyed it. Thank you for being my good students. Take care, and try anything you want to do.

Good by!

### Spencer Is Astonished At The Outstanding Works

my opinion's "That's a good project. I enjoyed reading your works. Keep working hard, and enjoy English!"

Adm. (to)	Author	Title	Author	Title	Author	Title
1. Tajima	American People	2. H. M. Kondo	Americans	3. M. N. Kondo	Americans	4. M. N. Kondo
5. C. Omoto	U.S. State	6. M. Ohashi	Japan	7. M. Ohashi	Japan	8. M. Ohashi
9. G. Omoto	Americans	10. M. Ohashi	Hawaii	11. M. Ohashi	Hawaii	12. M. Ohashi
13. T. Uchi	Foreigners	14. M. Ohashi	the Soviet people	15. M. Ohashi	the Soviet people	16. M. Ohashi
17. M. Ohashi	English Men	18. M. Ohashi	the Foreign people	19. M. Ohashi	the Foreign people	20. M. Ohashi
21. M. Ohashi	New York	22. M. Ohashi	the World	23. M. Ohashi	the World	24. M. Ohashi
25. M. Ohashi	French	26. M. Ohashi	South African	27. M. Ohashi	South African	28. M. Ohashi
31. M. Ohashi	President of America	32. M. Ohashi	Bush	33. M. Ohashi	Bush	34. M. Ohashi
35. M. Ohashi	Spencer	36. M. Ohashi	American	37. M. Ohashi	American	38. M. Ohashi
41. M. Ohashi	American	42. M. Ohashi	American	43. M. Ohashi	American	44. M. Ohashi

## Special Ready Or Not, You've Got To Get Over It.

1. 単語検定  
2. 短文検定  
3. 読解検定

## Don't Let It Red-3

### Quiz Kings & Queens

## Voice Speak Out, Then They Will Know You Better.

1. I. American  
2. A. Japanese  
3. M. American  
4. S. American  
5. H. American  
6. K. American  
7. N. American  
8. R. American  
9. T. American  
10. Y. American  
11. Z. American  
12. A. American  
13. C. American  
14. F. American  
15. G. American  
16. J. American  
17. L. American  
18. O. American  
19. Q. American  
20. U. American  
21. V. American  
22. W. American  
23. X. American  
24. A. American  
25. B. American

### 9 英語通信記事内容一覧

学年	号	日	掲載	記事名 (特記事項)	その他の記事
小学	1	4/18	第1回	英語の勉強がスタートしている	英語の勉強がスタートしている
	2	5/11	第2回	今年度の目標：手紙・会話・読書	今年度の目標：手紙・会話・読書
中1	3	5/11	第3回	英語学習の大切さ	英語学習の大切さ
	4	6/11	第4回	英語の勉強と今月の勉強	英語の勉強と今月の勉強
中2	5	6/11	第5回	「自己学習」を始めて！	「自己学習」を始めて！
	6	6/29	第6回	読書スタートを祝って	読書スタートを祝って
中3	7	7/11	第7回	読書スタートの成果を話そう	読書スタートの成果を話そう
	8	8/11	第8回	夏休みの準備！	夏休みの準備！
高1	9	10/21	第9回	英語スタートの準備	英語スタートの準備
	10	11/11	第10回	英語スタートを祝って	英語スタートを祝って
高2	11	12/11	第11回	英語の勉強：2学期を振り返って	英語の勉強：2学期を振り返って
	12	1/11	第12回	英語スタートを祝って	英語スタートを祝って
高3	13	1/21	第13回	英語スタートを祝って	英語スタートを祝って
	14	2/11	第14回	英語スタートを祝って	英語スタートを祝って
大学	15	2/11	第15回	英語スタートを祝って	英語スタートを祝って
	16	2/21	第16回	英語スタートを祝って	英語スタートを祝って
大学院	17	2/21	第17回	英語スタートを祝って	英語スタートを祝って
	18	2/21	第18回	英語スタートを祝って	英語スタートを祝って
研究	19	2/21	第19回	英語スタートを祝って	英語スタートを祝って
	20	2/21	第20回	英語スタートを祝って	英語スタートを祝って
研究	21	2/21	第21回	英語スタートを祝って	英語スタートを祝って
	22	2/21	第22回	英語スタートを祝って	英語スタートを祝って
研究	23	2/21	第23回	英語スタートを祝って	英語スタートを祝って
	24	2/21	第24回	英語スタートを祝って	英語スタートを祝って
研究	25	2/21	第25回	英語スタートを祝って	英語スタートを祝って
	26	2/21	第26回	英語スタートを祝って	英語スタートを祝って
研究	27	2/21	第27回	英語スタートを祝って	英語スタートを祝って
	28	2/21	第28回	英語スタートを祝って	英語スタートを祝って
研究	29	2/21	第29回	英語スタートを祝って	英語スタートを祝って
	30	2/21	第30回	英語スタートを祝って	英語スタートを祝って

学年	号	日	掲載	記事名 (特記事項)	その他の記事
小学	1	4/18	第1回	英語の勉強がスタートしている	英語の勉強がスタートしている
	2	5/11	第2回	今年度の目標：手紙・会話・読書	今年度の目標：手紙・会話・読書
中1	3	5/11	第3回	英語学習の大切さ	英語学習の大切さ
	4	6/11	第4回	英語の勉強と今月の勉強	英語の勉強と今月の勉強
中2	5	6/11	第5回	「自己学習」を始めて！	「自己学習」を始めて！
	6	6/29	第6回	読書スタートを祝って	読書スタートを祝って
中3	7	7/11	第7回	読書スタートの成果を話そう	読書スタートの成果を話そう
	8	8/11	第8回	夏休みの準備！	夏休みの準備！
高1	9	10/21	第9回	英語スタートの準備	英語スタートの準備
	10	11/11	第10回	英語スタートを祝って	英語スタートを祝って
高2	11	12/11	第11回	英語の勉強：2学期を振り返って	英語の勉強：2学期を振り返って
	12	1/11	第12回	英語スタートを祝って	英語スタートを祝って
高3	13	1/21	第13回	英語スタートを祝って	英語スタートを祝って
	14	2/11	第14回	英語スタートを祝って	英語スタートを祝って
大学	15	2/11	第15回	英語スタートを祝って	英語スタートを祝って
	16	2/21	第16回	英語スタートを祝って	英語スタートを祝って
大学院	17	2/21	第17回	英語スタートを祝って	英語スタートを祝って
	18	2/21	第18回	英語スタートを祝って	英語スタートを祝って
研究	19	2/21	第19回	英語スタートを祝って	英語スタートを祝って
	20	2/21	第20回	英語スタートを祝って	英語スタートを祝って
研究	21	2/21	第21回	英語スタートを祝って	英語スタートを祝って
	22	2/21	第22回	英語スタートを祝って	英語スタートを祝って
研究	23	2/21	第23回	英語スタートを祝って	英語スタートを祝って
	24	2/21	第24回	英語スタートを祝って	英語スタートを祝って
研究	25	2/21	第25回	英語スタートを祝って	英語スタートを祝って
	26	2/21	第26回	英語スタートを祝って	英語スタートを祝って
研究	27	2/21	第27回	英語スタートを祝って	英語スタートを祝って
	28	2/21	第28回	英語スタートを祝って	英語スタートを祝って
研究	29	2/21	第29回	英語スタートを祝って	英語スタートを祝って
	30	2/21	第30回	英語スタートを祝って	英語スタートを祝って